

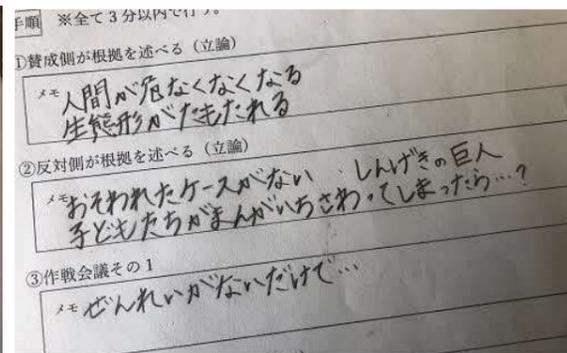
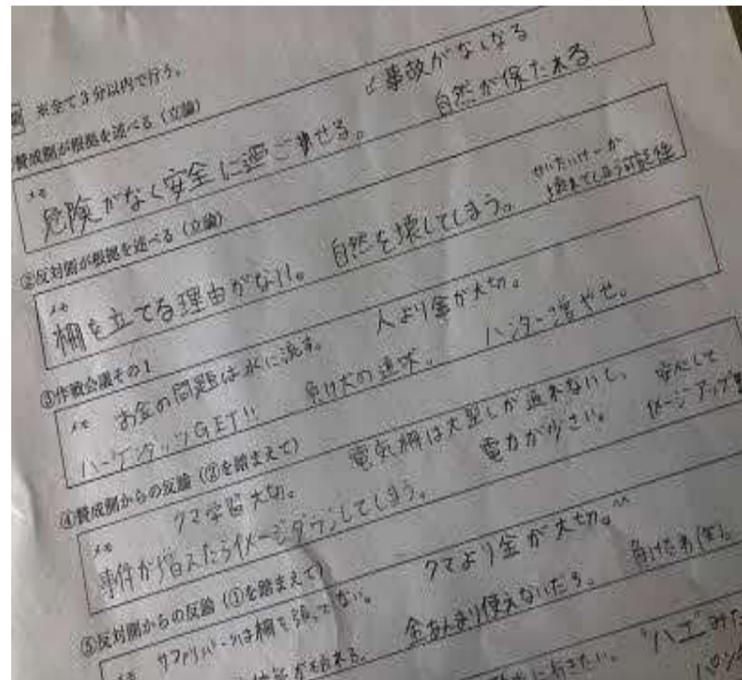


## 2 学年DH「クマ学習」の授業

- 1 科目名 総合的な探求の時間（2年必修・1単位）
- 2 担当者 福島義己（教諭、理科、2A担任、進路指導部、野球部顧問、本校3年目）
- 3 事業等 羅臼町中高一貫教育の知床学「クマ学習」  
中高一貫教育の一環として、中学1年、3年、高校2年で「クマ学習」を実施している。
- 4 連携 (財)知床財団、羅臼町教育委員会、羅臼町立知床未来中学校
- 5 講師 (財)知床財団 保護管理係長 松林良太 さん  
(財)知床財団 羅臼地区事業係長 坂部皆子 さん  
(財)知床財団 公園事業係 坂本朱音 さん
- 6 内容等 次の流れで実施しました。
  - ①知床半島に生息するヒグマの生態等について、調査データ等をもとにしたレクチャーを受ける。  
ヒグマの生態、出没、駆除、電気柵の設置と効果、共存のためにできることが話された。
  - ②事前学習で議論し決めたテーマで勝敗のあるディベートをおこなう。  
[テーマ] A 羅臼町全体を電気柵で囲うことの是非  
B サケ・マスを河口で釣ることの是非  
[手順] ①立論（肯定側が根拠を述べる）  
②立論（否定側が根拠を述べる）  
○作戦会議1  
③反駁（肯定側から否定側へ反論する）  
④反駁（否定側から肯定側へ反論する）  
○作戦会議2  
⑤最終弁論（肯定側による最終的な主張をおこなう）  
⑥最終弁論（否定側による最終的な主張をおこなう）  
⑦判定



上左：Bテーマでの議論、ジャッジは坂部さん  
上右：Aテーマでの議論、ジャッジは松林さん  
中左：松林さんによるレクチャー  
中右：作戦会議の様子  
下左：2A川端さんによるお礼の言葉



★印象的なワード  
観光客のため、密猟者が増える、生態系が整う、  
数量の制限、人間の安全、今ある状態、食物連鎖、  
100%会わないとは限らない、生態系、危険、安全、  
イメージアップ、自然を壊す、お金の使い道、密漁、  
取り締まり強化、クマが下りてこない、柵で囲う、  
進撃の巨人じゃない、襲われたケースがない、学習、  
平等、ツアー、施設、根拠、



《講師3名からの講評》  
関心をもって質問してくれる生徒が多くいたのはよかった。  
住民目線での具体的な意見について議論されたのは羅臼高校生ならではと思った。  
良い意見やワードは出るが、それを理解してもらえるように伝えるスキルに課題がある。  
知床のことをよく考え、議論していた姿に感動した。

(財)知床財団の坂部さん、松林さん、坂本さん、  
ありがとうございました。

